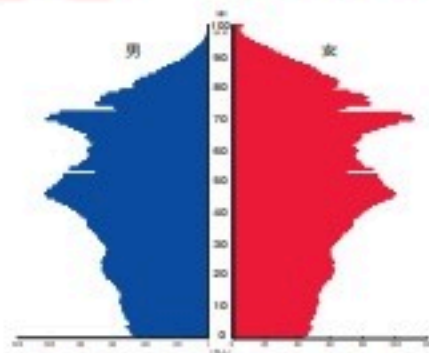


◆2023年◆
重点政策

公明党、子育てトータルプラン発表!!

子育てに安心を、この国に希望を。



◆日本の人口ピラミッド 出典:総務省統計局「日本の統計」2021 (2019年10月1日現在)

10年後、20年後の高齢者を支えるために
子育て支援で、社会保障を維持します。



子どもの幸せ最優先社会を

昨年の11月12日、公明党は子育て応援トータルプランを発表! 待ったなしの少子化・人口減少の克服に向けた具体策であり、「子どもの幸せ最優先社会」を目指すものです。

国や東京都、そして江東区は、公明党の支援策を参考に、令和5年度の予算に子育て支援を数多く計上しています。国は、出産育児一時金の増額を盛り込みました。加えて公明党は、「児童手当の大幅拡充」や「0～2歳児への保育無償化の対象拡大」を目指しています。都では、国に先駆け、「第2子の0～2歳児の保育料無償化」や「18歳までの医療費無償化」「子ども手当創設」の予算を計上。さらに江東区議会公明党は本年2月1日、学校給食費無償化の早期実施を緊急要望しました。食材料等の高騰が続く中、児童生徒の健康を守る点からも重要だからです。区長からは「区議会公明党がこれまで重ねて訴えてきた要望だ。検討に着手する」と、かつてないほど前向きな発言を引き出せました。引き続き、予算成立に向け、江東区議会公明党が一丸となって、全力で取り組みます。

子育て世帯への生活支援

18歳以下のすべての子どもへ、一人あたり3万円分の電子クーポン等を申請不要で配布します。所得制限なしで7月以降、配布開始予定です。



子ども医療費助成

中学生までを対象としてきた子ども医療費助成を、所得制限なし自己負担なしでいよいよ、18歳(高校生相当)までに拡充。医療費無償化の制度は4月より開始します。



23区初! 返済不要の給付型奨学資金制度を創設

入学準備金10万円、学資金として年額12万円(高校等在学中の3年間で36万円)で50名程度(令和6年4月の入学から開始)行っていきます。



学校給食費無償化検討へ着手!!

物価高騰対策での学校支援として、給食費の「食材料費上昇への支援」と「無償化」への検討をスタート。食材料費上昇の支援においては保育園やこども園などにも支援を行います。



子育て支援は裏面へ続く



江東区議会議員

2023年臨時特別号2

2023年2月22日発行



やつぎこうじ通信

発行: 矢次 浩二 住所: 江東区東陽2-3-6-1010 電話: 080-9804-9744



子ども図書館の整備 電子図書館サービスの提供

有明に「子ども図書館」を整備します。有明スポーツセンター内の空きスペースに子ども向けの読書スペースを設け、本の貸し借りも可能にします。また、全児童・生徒へ配布したタブレット端末を全ての図書館で利用できるようWiFi環境を整備。さらに、自宅から24時間アクセス可能な電子図書館サービスを開始します。



備蓄物資に 乳児用液体ミルクを追加

拠点避難所では、ストレスや疲れで母乳が出にくくなったり、哺乳瓶を洗う衛生的な環境がなかったりするなど、乳幼児の栄養確保の課題があります。そのため、備蓄物資に長期保存ができる液体ミルクが追加されます。



休日の学校部活動を 段階的に地域部活動へ移行



教員の働き方改革での負担軽減のため、部活動指導員の全校配置や外部指導員の指導など令和8年度の完全移行に向けた検討がスタートします。

親子で過ごす、江東区版 ゼロカーボンパークを整備

新たな江東区のシンボルとなる「親子で過ごすゼロカーボンパーク」を整備！若洲公園に都内最大の大型遊具を設置し、リニューアルします。温室効果ガス排出量実質ゼロを実現する公園にしていきます。



妊娠出産時に総額10万円分の応援 ギフト券の支給と伴走型の相談支援

妊娠届出時や出産後の相談で各5万円分計10万円を支給し、令和4年4月1日にさかのぼって支給も行います。ゆりかご面接として妊娠期から出産・子育てまで継続支援を併せて実施していきます。



ひとり親家庭に、 家事・育児サポーターを派遣

現在江東区では、多胎児家庭への支援として家事育児サポーターを派遣してきましたが、0～2歳の子供を養育するひとり親家庭も対象を拡大し、育児サポートを行います。



ヤングケアラーへの 支援体制を強化



江東区では令和4年度に実態調査や学校関係者に研修を実施。今後は、支援ネットワークの強化や普及啓発・周知等に取り組んでいきます。

医療的ケア児の支援

ガイドブックの作成のほか保育園や幼稚園、小・中学校、そしてきつずクラブなどで受け入れる補助が実施され、看護師などの対応ができるようになります。

